

城山公園ふれあいの森ゾーン の再整備について

1

都市整備部 公園緑地課
文化スポーツ振興部 スポーツ課
教育委員会 家庭・地域学びの課

城山動物園の課題

■ 施設課題

- ・動物園の存続を求める意見が多いものの老朽化が著しい
- ・駐車場が少ない
- ・酷暑日や雨天時などに遊べる場所がない
- ・授乳施設は無く、売店、飲食、休憩施設が不十分

老朽化した獣舎



快適とは言えない休憩施設



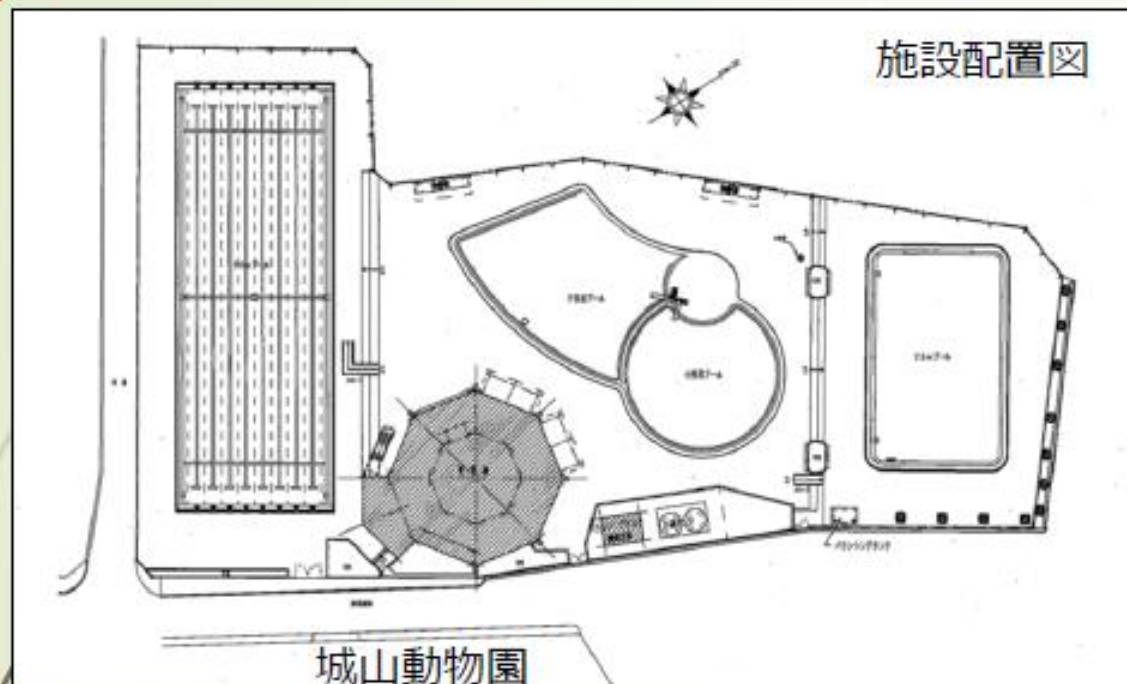
人気のバッテリーカー



■ 施設概要

建設年	S 46.5 (49年経過)
敷地面積	15,100㎡
展示動物	29種 226点 (R2.7)
遊具	大型遊具 3基ほか
利用者数	約26万人

城山市民プールの課題



■ 施設概要

建設年 S46.5 (49年経過)
 敷地面積 5,435㎡
 水面面積 1,449㎡
 更衣室等面積 327㎡
 プール概要 50m、25m
 子供用、小児用
 利用者数 11,000人

■ 施設課題

- ・老朽化により、設備の稼働時にプールの配管等から漏水が発生
 1日約30㎡~40㎡の漏水
 > 年間営業日数60日×35㎡/日=2,100㎡/営業日(R元)
- ・漏水箇所が不明なため、修繕には、ポンプ室の解体、ろ過タンク、循環ポンプ等の撤去が必要となり、多額の改修費が見込まれる



少年科学センターの課題



■ 施設概要

建設年 S 60.7 (35年経過)

1 F 面積 1,542㎡ B F 面積 1,865㎡

利用者数 108,000人

利用者内訳 幼児30% 小中学生25% 一般44%

設置目的

自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、少年の科学に対する知識の啓発及び向上を図る

■ 施設課題

近年は、小中学生よりも幼児の利用が多くなっており、本来の目的と利用者にズレが生じてきている

近年の科学技術の進歩は著しく、最新情報の展示や更新への対応が難しい



ふれあいの森ゾーン再整備の方針と概要

再整備方針

人気の高い城山動物園の改修を核として、少年科学センターと城山市民プールを、子育てファミリー層が天候に左右されずに安心して過ごせる環境へと転換を図る。

再整備概要

- (仮称) ながのこども館
動物園と一体となった全天候型の遊具施設
科学に関する展示物の活用と継承を検討
授乳室やおむつ替えに対応した施設は無料化
- 駐 車 場
駐車台数は普通車など180台程度
有料化（立体駐車場と城山庁舎跡地駐車場も同時に）
子育て世帯に配慮した料金設定を検討
- 新バッテリー遊具
対象年齢を上げたバッテリーカーの導入

